

平成 20 年度 第 6 回 理事会 抄録

日時：平成 20 年 12 月 20 日（土）13：00～18：00
場所：（社）日本作業療法士協会事務所 10 階会議室
出席：杉原（会長）、中村、山根（副会長）、荻原（事務局
局長）、富岡、古川、長尾（監事）、岩瀬、太田、
香山、榎澤、小林（正）、鶴見、早川（常務理事）、
大熊、大丸、片岡、小林（毅）、坂井、澤田、日垣、
山本（理事）、石塚、土井、西野、渡邊（部・委員
長）、関（士会連絡協議会長）

事務長が会議に先立ち、新規に採用した事務局職員
（山崎亜紀子）を紹介した。

I 審議事項

1 平成 20 年度第二次補正予算案について（石塚財務部
長）法人運営費、保健福祉活動費、特別企画費について
補正を行う。 → 承認

2. 平成 21 年度予算案及び事業計画案について（石塚
財務部長）新規事業、拡充事業について検討した。不明
な点もあるので、1 月の運営調整会で調整の上、理事会
に再提案する。 → 継続審議

3. 諸規程の整備について（西野規約委員長）

1) 会員の処分に関する規程（案）除名処分の際の
データの取り扱い、処分の適用と決定について、条文
の文章を修正する。 → 継続審議

2) 倫理問題の処理に関する規程（案）不服申請、弁
明の機会についての文言を追加する。 → 継続審議

3) 専門作業療法士制度規程（案）及び同規程細則（案）
→ 承認

4) 専門作業療法士審査等委員会規程（案） → 承認

4. WFOT 世界大会準備・推進プロジェクト組織について
（山根副会長）実行委員会を立ち上げるためのプロジェ
クトとして組織し、各部、関連士会と連携しながら活動
する。この機会に国際部の機能を整備し、当協会の国際
関連機能を整備する。2009 年度中に WFOT 世界大会実行
委員会を組織し、業務を移行する → 承認

5. 協会活動従事会員に対する傷害保険の導入について（大熊福利部担当理事）協会活動従事者（役員、部員、委員など）及び協会役員と都道府県士会役員の商品研修会、全国研修会を対象として保険に加入する。学会は、加入すべき保険を学会評議委員会にて検討し、各学会の予算で加入するよう始動することとする。 → 承認

6. 平成 21 年度協会表彰、功労表彰、名誉会員表彰の候補者について（大西表彰委員長）協会賞 11 名、功労賞 26 名を表彰する。名誉会員 6 名を推薦。 → 承認

7. 会員の入退会について（荻原事務局長）原田了介氏、11 月 19 日、死亡により退会。 → 承認

II 報告事項

1. 平成 21 年度協会主要目標について（土井企画調整委員長）理事会で大枠は承認済みだが、2 点について修正した。文言の一部を修正する。

2. 専門作業療法士制度のカリキュラム（最終案）について（早川生涯教育部担当理事）最終案として整理した。

3. 要望書の提出について（荻原事務局長）

- 1) 障害者自立支援法に基づく指定障害福祉サービスの事業等並びに指定障害者支援施設における作業療法士の配置について 理事会で承認済みのものに「生活訓練」に関する要望を追加した文書を厚生労働省社会援護局障害保健福祉部長宛に 12 月 11 日に提出。
- 2) 地域包括支援センター配置予定の「認知症コーディネーター（認知症連携担当者）」に関する作業療法士の活用について 認知症コーディネーターの地域包括支援センターへの配置に関し、作業療法士の活用要望文書を都道府県知事、市区町村宛てに提出予定。

4. 「安心と希望の介護ビジョン」について（山本保険部担当理事）安心と希望のある超高齢化社会を実現するために、2025 年を見据えてなすべき施策を提言する会議が厚生労働省老健局の中で立ち上げられた。

5. 渉外部活動報告 太田理事：12 月 11 日、民主党医療・

介護改革作業チームよりヒアリングの要請があり、会長とともに出席。**鶴見理事**：11月29日、(社)日本理学療法士協会、日本言語聴覚士協会と地域リハ・ケアフォーラム、3協会事業の今後について検討した。

6. **訪問系作業療法実態調査結果（精神領域）について**（大丸保健福祉部担当理事）保健福祉部で精神領域について調査した結果をまとめた。

7. **作業療法推進活動パイロット事業の選考について**（大熊士会組織担当理事）9月の理事会で承認されたが、選考過程の資料について補足的な報告をする。

8. **その他 山本理事**：①12月19日、リハビリテーション関連5団体会議開催。②平成21年度介護報酬改定に関する審議報告が発表された。12月26日に具体的な点数が出てくる予定。③ケアマネジャーの医療的ケアの知識向上のために調査・研究事業委員として当協会より杉原会長が参加。**太田理事**：学会時に協会のブースを設け、協会発刊書籍等の販売を検討する。**杉原会長**：①養成校の教師を対象にした内部障害の研修会を検討したい。②養成教育に関する要望書を協会として厚生労働省に提出したいので、原案を養成教育部でまとめていただきたい。**香山理事**：①厚生労働省から委託プロジェクト研究の中間報告会を12月21日に行う。②精神科救急学会、精神保健・予防学会が立ち上がり、コメディカルのシンポジウムが予定されている。